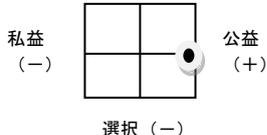


事業実績シート

2 実績結果

事業費の推移		前々年度決算	前年度決算	当該年度決算				
事業費（円）		-	-	4,337,598				
（財源内訳）	国庫支出金	-	-	-				
	県支出金	-	-	-				
	地方債	-	-	-				
	その他	-	-	-				
	市町振興共同事業助成金	-	-	1,472,000				
	一般財源	-	-	2,865,598				
成果（活動）指標	指標名		指標設定の考え方	単位	区分	前々年度	前年度	当該年度
	①	平成31年度から中学生派遣事業実施	本年度中に派遣先（カナダ）の学校との姉妹校協定の締結など準備を行う。		目標			構築済
					実績			構築済
					目標達成率（％）			100%
	②				目標			
					実績			
					目標達成率（％）			

3 事業の振り返り

必要性の点検	（1）公共性評価		必需（+）  私益（-） 公益（+） 選択（-）
	（公益性） <input type="checkbox"/> 広く社会に利益をもたらすサービス <input type="checkbox"/> 特定の個人又は集団のためのサービス <input checked="" type="checkbox"/> 上記以外の中間的なサービス	（必需性） <input type="checkbox"/> 住民生活に必要不可欠なサービス <input type="checkbox"/> 住民生活に必要不可欠ではないサービス <input checked="" type="checkbox"/> 上記以外の中間的なサービス	
	（2）行政関与の妥当性評価		（3）廃止又は休止した場合の影響
	妥当性低い 妥当性高い （-） 0 （+） 		（影響内容、程度等） 現代の国際化社会に対応していくためには、国際交流など多文化共生への取り組みを推進していかなければならない。

事業実績シート

4 有効性の点検、効率性の点検

有効性の点検	(1) 成果(活動)指標の達成状況		(左記結果となった理由)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果(活動)指標の実績値は、目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 成果(活動)指標の実績値は、目標を下回った		当初計画していた通りに来年度から中学生の英語圏派遣事業実施予定	
	(2) 成果(活動)指標を向上させるため、事業内容や実施方法を工夫する余地			
	<input type="checkbox"/> 工夫の余地はない <input checked="" type="checkbox"/> 工夫の余地がある		(工夫の内容・工夫の余地がない理由)	
	実施予定 期日	平成 30年12 月中	本年度中にカナダの学校と本町の中学校との姉妹校協定を締結し、相互の学生にとって有益となる交流内容の検討を進める。また、包括的連携に関する協定を締結している長崎外国語大学に協力を依頼し、視察前に留学生との交流による事前学習などの実施を行う。	
(3) 類似事業との統合		(統合可能性のある類似事業名、統合不可能な場合はその理由)		
<input type="checkbox"/> 類似する事業と統合可能 <input checked="" type="checkbox"/> 類似する事業はあるが、統合不可能 <input type="checkbox"/> 類似する事業はない		教育委員会で公民館講座など国際交流事業は行っているが、実際に英語圏を訪れることで、外国の文化を肌で感じ、国際的視野を養い、語学に対する学習意欲の醸成を図ることが目的であるため、事業の統合は不可能。		
効率性の点検	(1) 民間委託化等の妥当性評価		(具体的内容)	
	<input type="checkbox"/> 民間委託化や非常勤化等を検討すべき業務がある <input checked="" type="checkbox"/> 民間委託化や非常勤化等を検討すべき業務はない		中学生を海外へ派遣するため、安全性の面からすべての業務を民間委託することは困難である。。	
(2) 受益者負担の適正化等による歳入確保		(判断理由と可能な歳入確保内容)		
<input type="checkbox"/> 既に受益者負担の見直し等で歳入確保を実施済み <input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し等で歳入確保は可能 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担の見直し等での歳入確保は困難		派遣者による一部負担を検討しているが、負担金を高額にしてしまうと、家庭の収入状況によって参加できない学生が生じてしまうため、負担金については高額にならないよう設定する。そのため、受益者負担による歳入確保は困難である。		

5 今後の方向性

必要性の点検から	<input type="checkbox"/> 事業休止	<input type="checkbox"/> 事業廃止	<input type="checkbox"/> 民営	<input type="checkbox"/> 事業終了(完了)	■現状維持
実施(予定)時期					
有効性の点検から	<input type="checkbox"/> サービス水準低下	<input type="checkbox"/> サービス水準向上	<input type="checkbox"/> 類似事業との統合		■現状維持
実施予定時期					
効率性の点検から	<input type="checkbox"/> 委託化	<input type="checkbox"/> 非常勤化	<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 広告料収入等の新たな歳入の確保	■現状維持
実施予定時期					
具体的内容	本年度中にカナダの学校と本町の中学校との姉妹校協定を締結し、相互の学生にとって有益となる交流内容の検討を進める。また、包括的連携に関する協定を締結している長崎外国語大学に協力を依頼し、視察前に留学生との交流による事前学習などの実施を行う。				